

平成 21 年 5 月 22 日現在

研究種目：基盤研究 (C)
 研究期間：2005～2008
 課題番号：17530390
 研究課題名 (和文) 電子アンケート用 HTML&CGI 生成プロセッサによる社会調査に関する研究
 研究課題名 (英文) On the social research using HTML & CGI generating processor for web questionnaires.
 研究代表者
 池 周一郎 (IKE SHUICHIROU)
 帝京大学・文学部・准教授
 研究者番号：20246060

研究成果の概要：

Web 調査の特性に関して、紙と比較して単なる事実を尋ねた場合には、回答差はほとんど無く、その信頼性に差は無いことがわかった。ただ、その質問内容がプライバシーに深く関わったり、他人に知られたくない内容だったりする場合には、回答結果を調査員から秘匿する機能を持つプロセッサの機能を利用した Web 調査の方がより信頼性があることがわかった。

また、Web 上の電子的スケールは回答の分散を大きくする特性を有していることがわかった。

交付額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2005 年度	500,000	0	500,000
2006 年度	1,500,000	0	1,500,000
2007 年度	500,000	150,000	650,000
2008 年度	500,000	150,000	650,000
年度			
総計	3,000,000	300,000	3,300,000

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：社会学・社会学

キーワード：電子アンケート、自動コーディング、HTML&CGI 生成プロセッサ、論理エラー・チェック

1. 研究開始当初の背景

萌芽研究にて作成した HTML&CGI 生成プロセッサを用いて、本格的な Web 上での社会調査を実施し、その調査方法としての特性を明らかにし、同時にプロセッサの更なる改良を目指した。

2. 研究の目的

Web 上での調査の調査媒体としての特性の解明と他媒体との比較検討。

3. 研究の方法

調査媒体による調査の特性に関する先行研究の検討を行った。次に、調査員に PC を携帯させ、対象者にまず紙の調査票の調査に回答してもらい、次に 1 週間程度間隔を空けて、同一対象者に同じ内容を Web ページ上の調査票に回答をしてもらい、更に 3 回目として食い違う回答に関して更に回答してもらう調査を実施し、その回答の差異を検討・分析した。

また、調査過程で明らかになった点に関してプロセッサに機能を追加した。

学内で、学生の自習時間の調査なども行っ

てそのパフォーマンスをテストしている。

4. 研究成果

Web 調査の特性に関して、紙と比較して単なる事実を尋ねた場合には、回答差はほとんど無く、その信頼性に差は無いことがわかった。ただ、その質問内容がプライバシーに深く関わったり、他人に知られたくない内容だったりする場合には、回答結果を調査員から秘匿する機能を持つプロセッサの機能を利用した Web 調査の方がより信頼性があることがわかった。

また、Web 上の電子的スケールは回答の分散を大きくする特性を有していることがわかった。電子的スケールで帰属階層尋ねた場合、これまで指摘された「中意識」への集中傾向は失われるようである。帰属階層を「中」とすると答える傾向は、面接調査員を意識してなされた反応である可能性が大きいだろう。

プロセッサの改良はマイナーチェンジにとどまり、Java Applet を利用した動的な調査票を生成するプロセッサに関してはほとんど開発ができなかった。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 2 件)

池 周一郎, Herman Smith, Andreas Shneider Affect Control Theory と自然言語処理
雑誌名『自然言語処理』, 査読有
Vol. 14, No. 3, pp. 99-115, 2007

池 周一郎 「学生の自習時間に関する Web 調査票調査の結果」, 『帝京社会学』, 査読無し 22 号, pp. 23-46, 2009

[学会発表] (計 2 件)

池 周一郎, 「中意識への収斂は測定法に依存するのか? - 電子的スケールによる測定結果 -」, 数理社会学会 2007 年 9 月 15 日
広島修道大学

池 周一郎, 「電子媒体と紙媒体による調査結果の比較 - 電子的スケール変数測定の特性 -」, 日本社会学会 2007 年 11 月 17 日
関東学院大学

[図書] (計 0 件)

[産業財産権]

○出願状況 (計 0 件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

出願年月日:

国内外の別:

○取得状況 (計 0 件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

取得年月日:

国内外の別:

[その他]

研究成果報告書, 池 周一郎, 「電子アンケート用 HTML&CGI 生成プロセッサによる社会調査に関する研究報告書」, 2009 年 3 月, 生成プロセッサ本体, マニュアル等も収録 CD-ROM 付き

研究成果 Web ページ

<http://sociology.main.teikyo-u.ac.jp/E-enquete/DRM.html>

<http://sociology.main.teikyo-u.ac.jp/E-enquete/DRM-demo.html>

<http://sociology.main.teikyo-u.ac.jp/SR-2/SR-2.html>

6. 研究組織

(1) 研究代表者

池 周一郎 (IKE SHUICHIROU)

帝京大学・文学部・准教授

研究者番号: 20246060

(2) 研究分担者

石井 秀夫 (ISHII HIDEO)

帝京大学・文学部・教授

研究者番号: 301681743

菅野 博史 (KANN0 HIROSHI)

帝京大学・文学部・専任講師

研究者番号: 80276758

大浦 宏邦 (OOURA HIROKUNI)

帝京大学・経済学部・准教授

研究者番号: 60297116

(3) 連携研究者 なし

()

研究者番号: